



船中生の「誇り」とは…

梅雨入りを迎え、あちこちで紫陽花が鮮やかに色づき始めています。本校でも職員玄関前の池の横あたりに白い紫陽花が咲いていると思ったら、ひと雨ごとに少しずつ色が変わってきて、今ではかなり青みがかってきています。どのくらいまで色づくのか楽しみです。

紫陽花の花がまだ蕾だった先月下旬、1年生のマザー牧場への校外学習を皮切りに、2年生の鎌倉への校外学習、3年生の京都・奈良への修学旅行、と旅行行事が続きました。そして、梅雨入り前日となった6月6日（木）の5・6校時、今年も生徒総会が開催されました。

生徒総会とは、年に一度全校生徒が一堂に会して行う生徒会活動最大の会議で、すべて生徒自身の手によって行われます。生徒から議長団を選出して議事進行し、生徒会の予算・決算、活動報告等に加え、今年度の活動方針や目標を、生徒会本部役員や各専門委員長、学年委員長、各部長が壇上から発表します。

当日は、全校生徒が立派な姿勢で生徒総会に臨む姿を見せてくれました。全校生徒に向けて「伝えたい」という思いを投げかける生徒会、そして「聞こう」という気持ちで参加している生徒たち…。それを見ながら、校外学習を乗り越えた成果は大きい、とあらためて感じました。かなり暑い日であったにも関わらず、総会の資料で顔をあおぐ生徒もほとんどいなかったと思います。総会のすべての次第が終了し、椅子を持って体育館から整然と退場する生徒の姿を見ながら、行事をやり遂げる経験は一人一人を成長させ、必ず次の行事に繋がっていく、ということを実感しました。これから予定されている体育祭や合唱祭が楽しみです。

生徒総会

船中の誇りを行動で示せ！

3年生
年間目標

生徒総会では、毎年それぞれの学年の〈今年度の年間目標〉が学年委員長から発表されます。今年度の3年生の年間目標「船中の誇りを行動で示せ！」を、学年委員長の草山雄杜君が発表してくれました。そして、この年間目標とともに、全校生徒へ向けて「船中生としての誇りを常に持ち、生徒会と協力してくより良い船橋中学校〉を目指していきます。」と宣言しました。

総会では、会員である生徒からの質問もあります。3年生の年間目標に対しても質問がありました。質問は、「船中の誇りを行動で示す、とは具体的にどういうことですか」というものでした。それに対して学年委員長の草山君は「船中の看板に泥を塗らないようにしっかり生活することです。」と回答し、質問者は「わかりました」と言って、終わりました。

その後の休憩時間に、草山君に「船中の看板」とは何だと思うか、と聞いてみました。すると草山君は「船橋と名がつく中学校は船橋市で一つだけです。だから船中は船橋の代表校で、船橋という看板を背負っています。」と答えてくれました。なるほど、と感心し、さらに君は「船中の誇り」とは何だと思う？とあらためて尋ねてみました。

答えは、「それは生徒一人一人の心の中にあるものです。みんなの心の中にあってほしいと願っています。」とのことでした。

今回の生徒総会を通して、子供たちが目指している「より良い船橋中」とは、「これまでの歴史と伝統の上に、さらに誇りを持って生徒自身が積み重ねて作り上げていくものである」ということを、あらためて子供たちから教えられた気がします。